目次

目次	1
安全上のご注意	2
使用上のご注意	
安全上のご注意	
目の安全に関する警告	
はじめに	
製品の特長	14
パッケージ内容	
製品の各部名称	
本体	
コントロールパネル	
接続端子	
リモコン 設置方法	
プロジェクターの接続 コンピュータ/ノートパソコンへの接続	20
コンにューダ/フートパソコンへの接続ビデオソースへの接続	20
プロジェクターの電源オン/オフ	
プロジェクターの電源を入れる	
プロジェクターの電源を切る	
警告インジケータ	
投射映像の調整	
プロジェクターの高さを調整する	
プロジェクターのフォーカスを調整する 投射映像サイズと投射距離(プロジェクターとスクリーンの距離)	25
技術味像リイスと技術は離(プロジェクダーとスクリーブの距離)	
コントロールパネルおよびリモコン	
オンスクリーンメニュー	
インベケリーント <u>ー</u> ユー 操作方法	
メニューツリー(階層)	
イメージ	
ディスプレー	
設定	
オプション	
付録	
故障かなと思ったら	
画像の問題 中断の問題	
平断の问題	
リモコンの問題	
ランプの交換	
互換モード	
RS232 コマンド	
天井への取り付け	
Optoma 社 お問い合わせ先	
規制と安全に関する通知	

ご使用の前に必ずお読みください。

正しくお使いいただくことでお使いになる方への危害お よび、財産への損害を未然に防ぐことができます。安全 のために以下の警告事項、注意事項をお守りいただき、 製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、 いつでも見られるところに必ず保管してください。

「安全上のご注意」の絵表示

この表示を無視して誤った取 り扱いをすると、死亡した り、人体に多大な損傷を負う 可能性が想定される内容を示 しています。

この表示を無視して誤った取 り扱いをすると、人が損傷を 負う可能性又は物的損害のみ の発生が想定される内容を示 しています。

●絵記号の意味



この記号は注意(警告を含む)しなければならない 内容であることを示しています。記号の中や近くに 注意内容が示されています。



「感雷注意」を表す絵表示



この記号は禁止の行為(やってはいけないこと)を 告げるものです。記号の中や近くに具体的な内容が 書かれています。





「分解禁止」を表す絵表示



この記号は必ず行っていただきたい行為を告げるも のです。

記号の中や近くに具体的な内容が書かれています。



「雷源プラグを抜く」を表す絵表示

注意 /

本製品は以下のようなところ(環境)で使用および保管をしないでください。

故障の原因となることがあります。

- 保温性・保湿性の高い(じゅうたん・カーペット・スポンジ・ダンボール・発泡スチロールなど)場所での使用 (保管時は問題ありません)
- 湿気が多いところやホコリが多いところ
- 直射日光があたるところ
- 温湿度差の激しいところ
- 水気の多いところ(台所、浴室、水辺、海岸など)
- 腐食性ガス、油煙の中
- 静電気の影響が強いところ
- 熱の発生する物の近く(ストーブ、ヒーター、コンロなど)
- 強い磁力電波の影響を受けるところ(磁石、ディスプレイ、スピーカなどの近く)
- 振動や衝撃の加わる場所や傾いた場所
- 保温性・保湿性の高い(じゅうたん・カーペット・スポンジ・ダンボール・発泡スチロールなど)場所での使用 (保管時は問題ありません)

本製品は精密部品により構成されています。以下のことにご注意ください。



- 落としたり、衝撃を加えない
- 本製品の上に飲み物などの液体や、クリップなどの小部品を置かない
- 重いものを上にのせない
- 本製品のそばで飲食・喫煙などをしない



ケーブルは足などに引っ掛けないように、配線してください。足を引っ掛けると、けがをしたり、接続機器の故障の原因になります。また、ケーブルの上に重いものを載せないでください。じゅうたんの下などに配線したときは気づかず重いものを載せてしまいがちですので十分注意してください。また、熱器具のそばに配線しないでください。ケーブル被覆が溶けたり、破れたりし、接触不良などの原因になります。



ほかの電子機器に隣接して設置した場合、お互いに悪影響をおよぼし電波傷害をひきおこすことがあります。特に近くにテレビやラジオなどがある場合、音声が乱れたり、画像が乱れたりする場合があります。その場合は次のようにしてください。

- テレビやラジオなどからできるだけ離してください。
- テレビやラジオのアンテナの向きを変えてください。
- コンセントを別に分けてしてください。



長時間に渡って映像をみるばあいは一定の間隔で休憩をとってください。また部屋を真っ暗にすると目に疲労が蓄積されますので部屋を適度に明るくしてご覧ください。



排気ファン動作中は電源ケーブルを抜かないでください。 冷却ファンの回転音が止まり、主電源をオフにしてから電源ケーブルを抜いてください。



ランプモジュールのお取り扱い時は、手袋などをして素手ではさわらないようにしてください。ランプモジュールのプラスチック部分以外は、絶対にさわらないでください。破損する恐れがあります。



で使用直後はランプモジュール部分は大変高温になっています。絶対に触れないでください。ランプモジュールの交換はで使用後1時間程度放置し、余熱が完全に取れてから行ってください。やけどの恐れがあります。



ランプモジュールを落とさないようご注意ください。ガラスが散り、けがをする恐れがあります。



指定の電池(単4型乾電池)以外は使用しないでください。指定以外の電池を使用した場合、故障の原因となります。



電池を使い終ったときや、長時間使用しない時は取り出し てください。

電池を入れたままにしておくと、過放電により液が漏れ、けが、故障などの原因となります。



取り付け時には、極性に十分注意して取り付けてください。(電池には+極と一極があります。)故障の原因となります。



本製品を使用中にデータなどが紛失した場合でも、データなどの保証は一切いたしかねます。故障に備えて定期的にバックアップをお取りください。

警告/



煙がでている、へんなにおいがする、へんな音がするなどの 異常が発生したときはすぐに使用を中止してください。 万一 異常が発生した場合は電源を切り、電源プラグをコンセント から抜いてください。 そのまま使用すると、 感電したり、 火 災の原因になります。



本製品を濡らさないでください。水気の多い場所で使用しないでください。 お風呂場、台所、海岸・水辺での使用は火災・感電・故障の原因となります。



本製品を設置するときは、他の機器、壁などから適当な間隔をとってください。内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。目安として10cm以上の空間を空けてください。



本製品は紙、布などの柔らかいものや軽いものの上に設置しないでください。通気孔(レンズに向かって右側面と、 背面)に吸いついて内部の温度が上昇し、火災の原因となることがあります。



本製品を使用するときは近くに燃えやすいものを置かないでください。火災の原因となることがあります。



温度差のある場所への移動するとき、表面や内部が結露することがあります。結露した状態で使用すると、火災や感電の原因になります。使用するところで電源を入れずにそのまま数時間放置してからお使いください。



改造・分解はしないでください。お客様により修理は行なわないでください。火災や感電、やけど、動作不良の原因になります。



本製品内部へ異物を入れないでください。金属類や燃えやすい物などを入れないでください。火災や感電の原因になります。特に通風孔には異物がはいらないよう注意してください。



ぶつけたり、落としたりして衝撃を与えないでください。そのまま使用すると、火災や感電、故障の原因になります。



使用中はレンズをのぞかないでください。レンズからは非常に強い光が発せられていて、目を痛める原因となりますので、絶対にのぞかないでください。



リモコンのレーザー光を目にあてたり、人の目にあてたりしないでください。

目を痛める原因となりますので、絶対にのぞき込まないでください。本リモートコントロールにはクラス II レーザーが装備されています。

本製品は下記のようなところで使用しないでください。故障の原因になったり、思わぬ事故のもとになります。

- ほこりの多いところ
- 振動や衝撃の加わるところ
- 不安定なところ
 - 通気孔(レンズに向かって右側面と、背面)がふさがる とこ
 - 温度差の激しいところ
 - 水分や湿気の多いところ
 - 温度が高いところ



使用中や使用後は排気孔 (レンズのある面) およびその回り、設置台が熱くなります。

やけどの原因になりますので、触らないでください。



ランプモジュールを交換するときは、必ず電源ケーブルを コンセントから抜いて行なってください。感電の原因とな ります。



ケーブルは付属のものを使用し、次のことに注意して取り扱ってください。取り扱いを誤ると、ケーブルが傷み、火災や感電の原因になります。

- 引っ張ったり、折り曲げたりしない
- ●圧力をかけたり、押しつけない、ものをのせない
- ●加工しない
- ●熱器具のそばで使わない



電源プラグはほこりが付着していないことを確認して使用してください。接触不良で火災の原因になります。電源プラグは根本までしっかりさしてください。根本までさしてもゆるみがある場合は接続しないでください。販売店や電気工事店に依頼し、コンセントを交換してください。電源コンセントはたこ足配線、テーブルタップやコンピューターなどの裏側の補助電源への接続をしないでください。



電源コードの抜き差しは必ずプラグ部分を持って行なってください。電源コードを引っ張るとケーブルが傷み、火災の原因になります。電源プラグをコンセントから抜き差しするときは、濡れた手で行なわないで下さい。濡れた手で行うと感電の原因になります。



電池の液が漏れたときは、液に触れないでください。

- 電池の液が目にはいったり、体や皮膚につくと失明やけが、炎症の原因となります。液が目に入ったときは目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で充分に洗い、ただちに医師の診察を受けてください。
- 液が体や衣服についたときすぐに水道水などのきれいな水で充分洗い流してください。皮膚の炎症やけがが症状があるときは、医師に相談してください。



電池は小さなこどもの手の届かない場所に置いてください。電池は飲み込むと、窒息したり、胃などに障害をおこしたりする原因になります。万一、飲みこんだときは、ただちに医師に相談してください。



+) (一) を金属類で短絡させないでください。液が漏れたりして、けがややけどの原因となります。



電池から液が漏れたら、すぐに火気より遠ざけてください。漏れた液やそこから発生する気体に引火して、発火・破裂の恐れがあります。

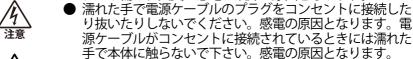


電池を火の中に入れたり、加熱・分解・改造・充電しないでください。また、水で濡らさないでください。 液が漏れたりして、けがややけどの原因となります。



電源ケーブルを取り扱つかうときは以下のことにご注意ください。

- 電源ケーブルを無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったりしないでください。ケーブルを加工しないでください。
- 電源ケーブルをコンセントから抜くときは、必ずプラグ部分を持って抜いてください。ケーブルを引っ張ると、ケーブルが傷み、火災・感電・故障の原因となります。 ● 津れた手で電源ケーブルのプラグをコンセントに接続した





● 電源ケーブルのプラグは根本までしっかり差し込んでください。ほこりが付着していないことを確認してからおこなってください。接触不良で火災の原因となります。



本製品を使用する際は、接続するパソコンや周辺機器メーカーが指示している警告、注意表示を厳守してください。



設置場所について

本プロジェクターは200 wのランプを使用しており、内部が大変熱くなります。以下の設置場所をお守りください。

- ●風通しの良いところに設置してください。内部に熱がこもらぬ様、充分注意し、通風孔(レンズに向かって右側面と背面)をふさぐことなく、充分な空気循環ができるようにしてください。
- ●高音になる場所には設置しないでください。直射日光にあたる場所や、熱器具(ストーブ、ヒーター、ホットカーペットなど)の近くに設置しないでください。

●屋内で使用してください。屋外で使用することを前提に設計 されてません。故障の原因になります。

- 設置場所の強度が充分あるところに設置してください。高い場所への設置時は、ぶつかったり、落下したりしないことを充分に注意し、安全に設置してください。
- ●油煙や腐食性のガスのあるところには設置しないでください。
- 振動や連続的な衝撃の加わるようなところには設置しないでください。

見る場所について

- ●画面との距離を適度にとってご覧ください。
- ●暗い部屋での使用は目によくないので。適度な明るさの中で ご覧ください。長時間見るときは適度に休憩をしてください。

お手入れについて

- ●レンズや本体が汚れたときは乾いた柔らかくきれいな布等で軽く拭いてください。汚れがひどいときは柔らかくきれいな布に水または中性洗剤を含ませて良く絞ってから軽く拭いてください。
- ●水滴などがレンズについた場合はすぐに乾いた柔らかくきれいな布等で拭いてください。そのまま使用すると、表示面が変色したり、シミになったりする原因となります。また、水分がつくと故障の原因となります。
- ●清掃を行なうときは、かならず電源を切り、電源コードをコンセントから抜いてください。

廃棄について

廃棄するときは、地方自治体が定める条例にしたがって ください。

ランプの寿命について

▶本製品で使用しているランプモジュールには寿命がありま す。標準約2,000時間になります。交換時期になると警 告メッセージが画面内に表示されます。ランプ交換のページ の方法に従い、ランプモジュールを交換してください。

●ランプは消耗品扱いです。 ●ランプモジュールの寿命はあくまで目安として提示されるも ので、この限りではない場合があります。あらかじめご了承 ください。

●ランプの寿命について ランプは個々の特性により、大きく差がございます。また、 で使用条件、環境、使用経過による劣化などにより、大きく 寿命が異なる場合があります。予め交換用ランプを準備して おく事をお奨めいたします。

その他注意事項

- ●保管時は高温多湿を避け、ほこりなどが進入しないよう保管 して下さい。
- ●長期間使用しないときは、コンセントから電源プラグを抜い てください。
- ▶持ち運びするときは、付属のソフトケースに入れて衝撃をあ たえたり、雨に濡らしたりしないよう注意してください。
- ●レンズは傷つき易いので硬い物でおしたり、こすったり、た たいたりじないでください。また、強い圧力をレンズおよび 周囲に与えないで下さい。破損の恐れがあります。
- ●やむを得ず宅配便などで郵送する際は、オプションの専用ハ ードケースを利用するか、購入時のダンボールとクッション をお使いすることをおすすめします。
- Microsoft、Windows、Windows NT、Windows Me、Windows 2000は米国マイクロソフトコーポレーションの米国お よびその他の国における登録商標です。
- ●本書の内容の一部または全部を無断転載することはかたくお 断りいたします。
- ●本書の内容については、将来予告なしに変更するばあいがあ ります。

IV@I

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制 協議会(VCCI)の基準に基づくクラスB情報技 術装置です。この装置は、家庭環境で使用する

ことを目的としていますが、この装置がラジオやテビジ ョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起 こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱 いをしてください。

安全に関する情報



正三角形内部の矢印の付いた稲妻は、製品の狂態内部に感電の恐れのある、絶 縁されていない「危険な電圧」があることをユーザーに警告するものです。



正三角形内部の感嘆符は、機器に付属するマニュアルに重要な操作およびメンテナンス(アフターサービス)に関する指示があることをユーザーに警告するものです。

警告:感電の恐れがあるため、プロジェクターを雨や湿気にさらさないでください。筐体内部には、危険な高電圧が存在します。キャビネットを開けないでください。

Class B 放出制限

この Class B デジタル機器は、カナダ障害原因装置規制のすべての要件を満たしています。

大切な安全に関する指示

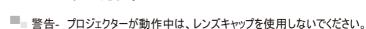
- 1. このプロジェクターを使用する前に、これらの指示をお読みください。
- 2. これらの指示を保管して、必要に応じて参照してください。
- 3. すべての指示に従ってください。
- 4. メーカーの指示に従って取り付けてください:
 - A. **換気孔を塞がないでください。**プロジェクターの安全な操作を確保するために、また過熱から保護するために、プロジェクターは適切な換気を妨害しない位置や場所に設置してください。例えば、プロジェクターをベッド、ソファ、カーペット、または換気孔を防ぐ可能性のある類似表面の上に置かないでください。換気孔から空気の流れを阻止する可能性のある本箱やキャビネットなどの、囲われた場所に本機器を設置しないでください。
 - B. **このプロジェクターを水気や湿気のあるところで使用しないでください。**火災や感電の原因となるため、プロジェクターを雨や湿気にさらさないようにしてください。
 - C. ラジエータ、ヒーター、ストーブまたは熱を発生するその他の機器(アンプを含む)など、**熱源の傍に取り付けないでください**。
- 5. 乾いた布で拭いてください。
- 6. 製造元の指定する付属品/アクセサリのみを使用してください。
- 7. アフターサービスはすべて、公認のサービススタッフに依頼してください。プロジェクタが次のどれかが原因で損傷したとき、アフターサービスが必要となります。
 - □ 電源装置のコードまたはプラグが損傷した。
 - □ 液体がこぼれた、または物体が器具の中に落ちた。
 - □ プロジェクターが雨や湿気にさらされた、正常に作動しない、または落とした。 お客様自身でこのプロジェクターを修理しないでください。カバーを開けたり取り外した りすると、危険な電圧やその他の危険にさらされます。最寄りの正規サービスセンター については、Optoma までお電話でお問い合わせください。
- 8. プロジェクタ内部に物体や液体が入らないようにしてください。 危険な電圧ポイントやショートしやすい部品に触れ笠井や感電の原因となります。
- 9. 安全に関係するマーキングについては、プロジェクターの筐体をご覧ください。
- 10. プロジェクターは適切な資格を持ったサービススタッフ以外には、調整または修理することができません。

安全上のご注意



この取扱説明書で推奨されたすべての警告、安全上のご注意およびメンテナンスの指示に従ってください。

- 警告- ランプ点灯中は、プロジェクタレンズをのぞかないでください。強力な 光線により、視力障害が引き起こされる恐れがあります。
- 警告- 火災や感電の原因となるため、本プロジェクターを雨や湿気にさらさないようにしてください。
- 警告- プロジェクターのカバーを外したり、本体を分解したりしないでください。感電する恐れがあります。
- 警告- ランプを交換する際は、本体の熱が冷めてから行い、取扱説明書に記載の指示に従ってください。 56-57 ページを参照してください。
- 警告- 本プロジェクターは、ランプの寿命を自動的に検知します。警告メッセージが表示されたら、必ずランプを交換してください。
- 警告- ランプモジュールを交換した場合は、オンスクリーンメニューの「オプション | ランプ設定」にある「ランプリセット」機能を使用してください(50ページを参照してください)。
- 警告- プロジェクターの電源を切るときは、冷却サイクルが完了したのを確認してから電源コードを抜いてください。90 秒間プロジェクターを冷却してください。



- 警告- ランプの寿命に近づくと、画面に「ランプ警告:ランプの寿命を過ぎています。」というメッセージが表示されます。できる限り速やかに最寄りの販売店またはサービスセンターに連絡して、ランプを交換してください。
- 警告- 目を損傷する原因となるため、リモコンのレーザー光線を見つめななり、レーザー光線を他の人の目に向けないでください。このリモコンには、放射線を出す Class II のレーザーが装備されています。



* ランプが寿命に達すると、ランプモジュールを交換するまでプロジェクターの電源は入りません。「ランプの交換」(56~57ページ)に記載の手順に従ってランプを交換してください。

推奨事項:

- ❖ お手入れをするときは、プロジェクターの電源を切ってください。
- ⋄ ディスプレー筐体は、中性洗剤で軽く湿らせた柔らかい布で拭いてください。
- ❖ 本製品を長時間使用しない場合は、電源プラグをコンセントから抜いて ください。

禁止事項:

- ❖ 装置の通風用スロットや開口部を塞がないでください。
- 本体を研磨材入りクリーナー、ワックス、溶剤などでお手入れしないでください。
- ❖ 以下のような環境下では使用しないでください。
 - 極端に気温の高い、低い、あるいは湿気の多い場所。
 - ▶ 室温が5~35°C の範囲に保たれていることを確認してください。
 - ▶ 相対湿度は 5~35°C、80%(最大)、結露しないこと。
 - 大量のほこりや汚れにさらされる場所。
 - 強い磁場を生成する機器の近く。
 - 直射日光の当たる場所。

目の安全に関する警告



- 常にプロジェクターの光線をまっすぐ見つめることは避けてください。
- プレゼンターが光線内に入る必要を避けるために、棒の使用をお勧め します。
- プロジェクターが画面と聴衆を結ぶ線から外れるように設置されていることを確認してください。これにより、発表者が聴衆の方を見ても、聴衆はプロジェクターのランプを見つめる必要がなくなります。これを達成する最良の方法は、プロジェクターを床やテーブルの上に置かず天井に取り付けることです。
- プロジェクターを教室で使用するとき、画面の何かを指示するように学生が求められたとき、彼らを適切に指導してください。
- 必要とされるランプの電力を最小限に抑えるために、部屋のブラインドを下ろして周辺光のレベルを下げてください。

製品の特長

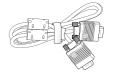
本製品は、ショートスロー XGA シングルチップ 0.55" DLP® プロジェクターです。以下のような優れた機能を備えています。

- ◆ リアル XGA、アドレス可能解像度 1024 x 768 ピクセル
- ◆ Texas Instruments シングルチップ DLP® テクノロジ
- ◆ コンピュータの互換性:
 Apple Macintosh、iMac、および VESA 標準:
 UXGA、SXGA+、SXGA、WXGA、XGA、SVGA、VGA
- ◆ ビデオ互換性:
 - NTSC、NTSC4.43
 - PAL/PAL-M/PAL-N/SECAM
 - SDTV互換(480i/p、576i/p)
 - HDTV互換(720p、1080i)
- ◆ ユーザー定義可能設定による自動光源検出
- ◆ 全機能搭載の IR リモコンとマウスコントロール
- ◆ 使い勝手の良い多言語対応オンスクリーンメニュー
- ◆ 高度デジタルキーストン補正(台形補正)および高品質フルスクリーン画像リスケール
- ◆ 使い勝手の良いコントロールパネル
- ◆ 8W アンプ内蔵スピーカー搭載(1台)
- ◆ Macintosh および PC 互換
- ◆ DVI-I 対応(HDCP 準拠)
- ◆ ネットワーク機能(LAN/RS232)のサポート

パッケージ内容

本パッケージには、プロジェクター本体および以下の付属品が含まれます。まず、すべての付属品が揃っていることをご確認ください。 万一不足品がございましたら、お手数ですが販売店までご連絡く ださい。





レンズキャップ付プロジェクター

電源コード(1.8m)

VGA ケーブル(1.8m)



付属品はお住まいの国や地域によって異なる場合があります。



IR リモコン



単四電池(2本)

文書:

▼ 保証書

✓ クイックスタートカード

▼ WEEE カード

電源コードについて注意事項:

- 1. 必ずアース接続を行ってください。
- 2. アース接続は必ず電源プラグを電源につなぐ前に行って下さい。また、アース接続を外す場合は、必ず電源プラグを切り離してから行って下さい。
- 3. 本製品付属電源ケーブルは日本国内仕様(AC100V)になりますので、海内での使用できません。

はじめに

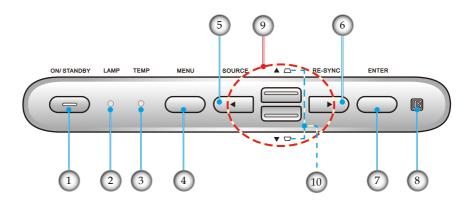
製品の各部名称



- 1. 赤外線レシーバー
- 2. コントロールパネル
- 3. フォーカス
- 4. 映写レンズ

- 5. 電源ソケット
- 6. 接続端子
- 7. セキュリティバー

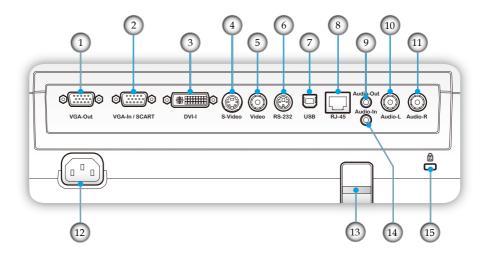
コントロールパネル



- 1. オン/スタンバイおよび電源 LED
- 2. ランプ LED
- 3. 温度 LED
- 4. メニュー
- 5. ソース
- 6. 再同期
- 7. Enter
- 8. 赤外線レシーバー
- 9. 4方向選択キー
- 10. キーストーン補正

はじめに

接続端子

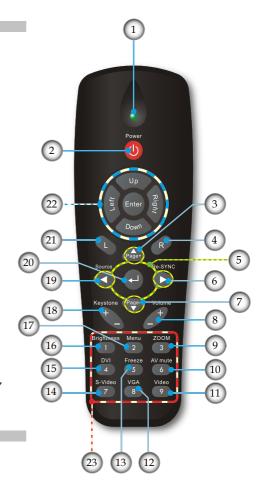


- 1. VGA アウト端子(モニタループスルー出力)
- 2. VGA 入力/SCART 端子(PC アナログ信号/コンポーネントビデオ 入力/HDTV/SCART 用)
- 3. DVI-I 端子(PC デジタル(HDCP)/PC アナログ/コンポーネントビデオ入力)
- 4. S-VIDEO 入力端子
- 5. コンポジットビデオ入力端子
- 6. RS-232 端子
- 7. USB 端子(PC と接続/リモートマウス機能用)
- 8. ネットワーク端子 RI45
- 9. 音声アウト端子
- 10. 音声左端子
- 11. 音声右端子
- 12. 電源ソケット
- 13. セキュリティバー
- 14. 音声入力端子
- 15. Kensington™ ロックポート

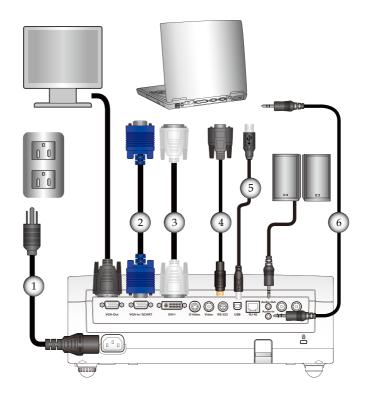
はじめに

リモコン

- 1. ボタン LED
- 2. 電源オン/オフ
- 3. ページアップ
- 4. マウス右クリック
- 5. 4 方向選択キー
- 6. 再同期
- 7. ページダウン
- 8. 音量 +/-
- 9. ズーム
- 10. AV ₹ユート
- 11. ビデオソース
- 12. VGA ソース
- 13. 画面のフリーズ
- 14. S-VIDEO ソース
- 15. DVI ソース
- 16. 輝度
- 17. メニュー
- 18. キーストン +/-
- 19. ソース
- 20. Enter
- 21. マウス左クリック
- 22. PC/マウスコントロール
- 23. 数字ボタン (パスワード入力用)



プロジェクターの接続 コンピュータ/ノートパソコンへの接続

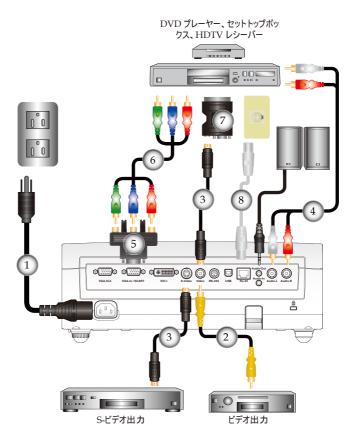




付属品はお住まいの国や地域によって異なる場合があります。

1		
	1	電源コード
	2	VGA ケーブル
	3	. DVI ケーブル (オプションのアクセサリ)
	4	RS232 ケーブル (オプションのアクセサリ)
	5	. USB ケーブル (オプションのアクセサリ)
	6音声	5入力ケーブル (オプションのアクセサリ)

ビデオソースへの接続





付属品はお住まいの国や地域によって異なる場合があります。

1電源	5つ . ド
1	
3	
4オーディオケーブルジャック RCA (オプションのアク	
515 ピン対 3RCA コンポーネント/HDTV アダプタ (オプションのアク	
63 RCA コンポーネントケーブル (オプションのアク	
7SCART RGB/S-ビデオアダプタ (オプションのアク	セサリ)
8ネットワークケーブル (オプションのアク	セサリ)

日本語

プロジェクターの電源オン/オフ プロジェクターの電源を入れる

- 1. レンズキャップを取り外します。 ●
- 電源コードと信号ケーブルが正しく接続されていることを確認します。
 電源 LED が緑で黄色になります。
- 3. プロジェクター上部またはリモコンの「オン/スタンバイ」ボタンを押して、 ランプの電源を入れます。正しく接続されている場合は、電源 LED が緑に点滅します。

起動画面は約 10 秒後に表示されます。初めてプロジェクターを使用するとき、起動画面が表示された後にクイックメニューから好みの言語を選択することができます。

- 4. ソース(コンピュータ、ノートパソコン、ビデオプレーヤー等)の電源を入れます。プロジェクターは自動的にソースを捜索(検出)します。
- ◆ 複数のソースを同時に接続している場合は、コントロールパネルの「ソース」ポタンを押すか、またはリモコンのソースポタンを押すと入力を切り換えることができます。



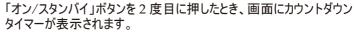


プロジェクターの電源を切る

1. 「オン/スタンバイ」ボタンを押してプロジェクターのランプの電源を切ると、メッセージがプロジェクターの画面に表示されます。

パワーオフ?
電源キーを再び押す。

2. 「オン/スタンバイ」ボタンをもう一度押して確認します。ボタンを押さなければ、15 秒後にメッセージが消えます。



3. 冷却ファンが約 10 秒間操作を続け、冷却サイクルを実行します。電源 LED が黄色になると、プロジェクターはスタンバイモードに切り換わっています。

プロジェクターの電源を再び入れたい場合、プロジェクターが冷却サイクルを終了し、それからスタンバイモードに入るのを待つ必要があります。スタンバイモード中は、「オン/スタンバイ」ボタンを押すだけでプロジェクターを再起動させることができます。

- 4. 電源コードをコンセントおよびプロジェクターから抜きます。
- 5. 電源を切った直後は、プロジェクターの電源を入れないでください。

警告インジケータ

- ❖「LAMP (ランプ)」インジケータが赤く点灯すると、プロジェクタは自動的にシャットダウンします。最寄りの販売店またはサービスセンターにご連絡ください。63-64ページを参照してください。
- ❖「TEMP (温度)」インジケータが赤く点灯した場合は、プロジェクター が過熱状態であることを意味します。プロジェクターの電源が自動的 に切れ ます。

通常の条件下で、プロジェクターは冷却した後再び電源を入れることができます。それでも問題が解決されない場合、最寄りの代理店またはサービスセンターに連絡する必要があります。63-64ページを参照してください。

◆「TEMP (温度)」インジケータが赤く点滅した場合は、ファンが正常に機能していないことを意味します。最寄りの代理店またはサービスセンターにご連絡ください。63-64 ページを参照してください。



0

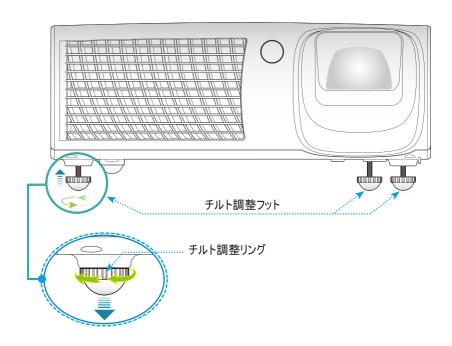
投射映像の調整

プロジェクターの高さを調整する

本プロジェクターには、投写映像の高さを調整するためのエレベータフットがあります。

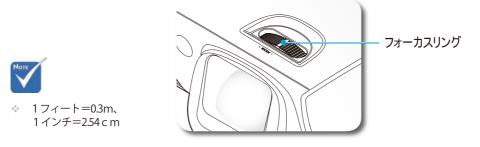
映像を上に移動するには:

- 1. プロジェクタの下側で変更する調整可能な足を探します。
- 2. 4 つの調整可能リングを反時計方向に回転するとプロジェクタが持ち上がり、時計方向に回転すると下がります。必要に応じて、残りの足についてもこの手順を繰り返します。
- 3. 必要に応じて、プロジェクタの足をリセットし、調整し直してください。

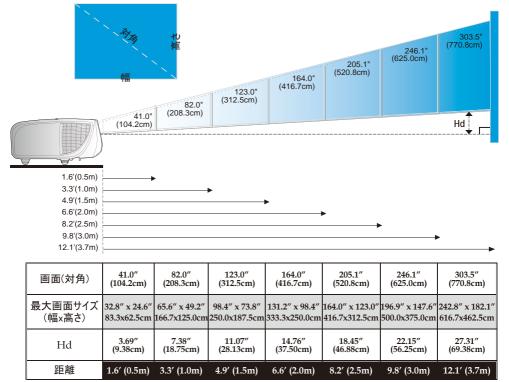


プロジェクターのフォーカスを調整する

映像にピントを合わせるには、映像がクリアに表示されるまでフォーカスリングを回します。本プロジェクタは、0.5~3.7mの距離内でピントを合わせることができます。



投射映像サイズと投射距離(プロジェクターとスクリーンの距離)



コントロールパネルおよびリモコン

機能を設定する方法は、次の2通りあります: コントロールパネルおよびリモコン。



コントロールパネルのボタン		
ON/STANDBY Power LED (オン/スタンバイ LED)	22~23 ページの「プロジェクターの電源オン/オフ」を参照 してください。 プロジェクタのステータスを表示します。	
Lamp LED (ランプ LED)	プロジェクタのランプのステータスを表示します。	
Temp LED (温度 LED)	プロジェクタの温度ステータスを表示します。	
Menu (メニュー)	「メニュー」を押してオンスクリーン(OSD)メニューを起動します。OSDを終了するには、「メニュー」を再び押します。	
Source (ソース)	「ソース」を押して入力信号を選択します。	
4方向選択キー	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
キーストン	・ を使用して、プロジェクタを斜め方向から投写することにより生じる、画像のゆがみを調整します。	
Re-Sync (再同期)	プロジェクターを自動的に入力ソースと同期化します。	
Enter	選択した項目を確定します。	

コントロールパネルのボタン





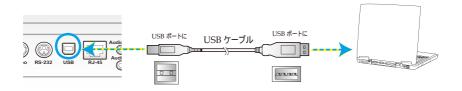
Power (電源)	22~23 ページの「プロジェクターの電源オン/オフ」 を参照してください。
PC/マウスコント ロール	PC/マウスコントロールは、マウスの動きをコントロールするために使用できます。マウス機能は、コンピュータとプロジェクターを接続するための USB ケーブルを使用して有効になります。
L Button (L ボタン)	マウスを左クリックします。
R Button (R ボタン)	マウスを右クリックします。
Page + (ページ +)	このボタンを押して、ページを上に移動します。
Page - (ページ -)	このボタンを押して、ページを下に移動します。
Enter ←	選択した項目を確定します。
Source(ソース)	「ソース」を押して入力信号を選択します。
Re-Sync (再同期)	プロジェクターを自動的に入力ソースと同期化します。
4 方向選択キー	▲ ▼ ◀▶ を使用して項目を選択するか、選択 に合わせて調整を行います。
Keystone +/- (キーストン +/-)	プロジェクターを斜め方向から投射することにより生 じる、イメージのゆがみを調整します。
Volume +/- (音量 +/-)	音量の増減を調整します。
Brightness (輝度)	画像の輝度を調整します。
Menu(メニュー)	「メニュー」を押してオンスクリーン(OSD)メニューを 起動します。OSD を終了するには、「メニュー」を 再び押します。
Zoom(ズーム)	「+ / -」ボタンを押して、イメージをズームインします。



コントロールパネ	い のボタン
DVI	「DVI」を押して DVI-I ソースを選択します。
VGA	「VGA」を押して VGA 入力端子からソースを選択します。
AV Mute (AV ミュート)	一時的に音声と映像のオン/オフを切り換えることが できます。
S-Video (S-ビデオ)	「S-ビデオ」を押して S-ビデオソースを選択します。
Freeze (画面のフリーズ)	「画面のフリーズ」ボタンを押すと、スクリーン画像が 一時停止します。 このボタンをもう一度押すとロック解除されます。
Video (ビデオ)	「ビデオ」を押してコンポジットビデオソースを選択し ます。

USB リモートマウスコントロールを使用する

このプロジェクタのリモコンは、USB ケーブルを接続してリモートマウスコントロールとして使用できます。



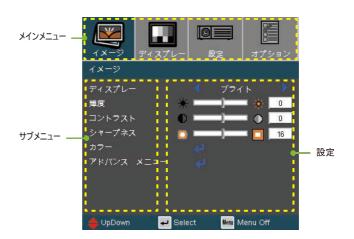
▶ プロジェクタが USB ケーブルを通して PC に接続されているとき、リモートはマウスのコントロールとして機能します。

オンスクリーンメニュー

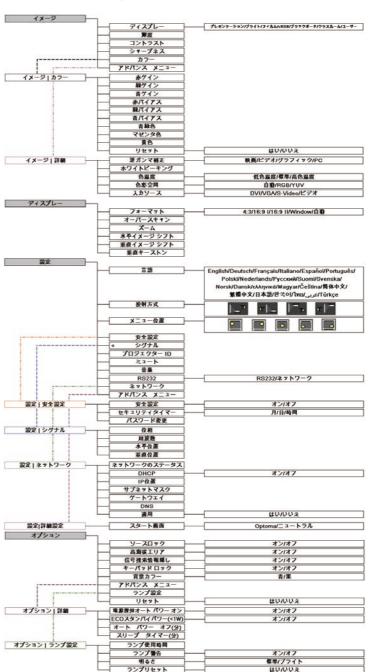
本プロジェクターでは、多言語対応オンスクリーンメニューを使って、画像 調整やさまざまな設定の変更を行うことができます。プロジェクターは自 動的にソースを捜索(検出)します。

操作方法

- 1. OSD メニューを開くには、リモコンまたはプロジェクターキーパッドの「メニュー」 ボタンを押します。
- 2 OSD が表示されたら、◀▶キーを使ってメインメニューの任意の項目を選択 します。特定のページを選択し、▼または「Enter」キーを押してサブメニュー に進みます。
- 3. ▲ ▼ キーを使って目的の項目を選択し、 ◆ トーで設定を調整します。
- 4. サブメニューから次に調整したい項目を選択し、上記手順と同様に設定を調整します。
- 5. 「Enter」ボタンを押すと設定が確定し、スクリーンはメインメニューに戻ります。
- 6. 終了するには、もう一度「メニュー」ボタンを押します。オンスクリーンメニューが 閉じ、プロジェクターは自動的に新しい設定を保存します。



メニューツリー(階層)



Note

(*)「シグナル」メ ニューは、アナログ VGA(RGB)信号での みサポートされます。

イメージ



ディスプレー

さまざまな映像方式用に最適化されたプリセット設定が用意されています。

- ▶ プレゼンテーション: PC 入力からの望ましいカラーと輝度。
- ▶ ブライト: PC 入力からの最大輝度。
- ▶ フィルム: ホームシアター用。
- ▶ sRGB: 標準化された正確なカラー。
- ▶ ブラックボード: このモードは黒板(緑)上に映写しているとき、最適の色設定を得るために選択する必要があります。
- ▶ クラスルーム: このモードは、教室での映写に推奨されます。
- ▶ ユーザー: ユーザー独自の設定。

輝度

画像の輝度を調整します。

- ▶ ◀を押すと画像が暗くなります。
- ▶ を押すと画像が明るくなります。

<u>コントラスト</u>

コントラストは、画像や映像の最暗部(黒)と最明部(白)の差の度合いを調整します。コントラストを調整すると、画像の黒と白の量が変化します。

- ▶ ■を押すとコントラストが下がります。
- ▶ を押すとコントラストが上がります。

イメージ



シャープネス

画像のシャープネスを調整します。

- ▶ を押すとシャープネスが下がります。
- ▶ を押すとシャープネスが上がります。

イメージ | カラー



カラー

明るさの調整には赤/緑/青ゲインを選択し、映像全体のコントラスト調整にはバイアスを選択します。青緑色、マゼンタ色、黄色の各色も調整できます。

リセット

「はい」を選択すると工場出荷時の色調整に戻ります。

イメージー詳細



逆ガンマ補正

入力ソースを最高画質で再現するために微調整されたガンマテーブルを選択することができます。

- ▶ 映画: ホームシアター用。
- ▶ ビデオ: ビデオまたは TV ソース用。
- ▶ グラフィック: イメージソース用。
- ▶ PC: PC またはコンピュータソース用。

ホワイトピーキング

この調整可能なアイテムは新しいカラー処理アルゴリズムとシステムレベルのエンハンスメントを利用して高い輝度を可能にしながら、映像に真の、鮮やかなカラーを実現します。範囲は「0」から「10」の間です。画像をより強化したい場合は、最大設定方向に調整します。画像をよりスムーズに、より自然にしたい場合は、最小設定方向に調整します。

色温度

色温度を調整します。温度が低いと、青みの強い冷たい雰囲気の映像になり、温度が高いと、赤みの強い暖かい雰囲気の映像になります。

色彩空間

自動、RGB または YUV から適切なカラーマトリックスタイプを選択します。

イメージ | 詳細



入力ソース

信号源の選択をオンにします。以下のように「→」を押して次のメニューに入り、 ▲ または ▼ を使って選択します。「Enter」を押すと選択が確定されます。プロジェクターは、非選択状態の入力を検索しません。



ディスプレー

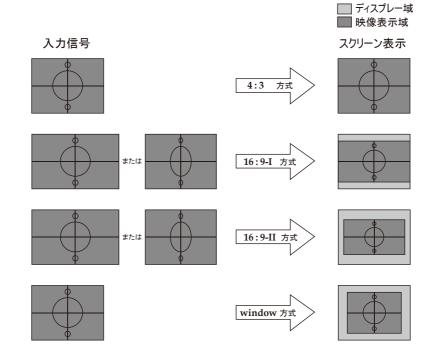


フォーマット

ここで、ご希望のアスペクト比を選択します。

- ▶ 4:3: このフォーマットは 4x3 入力ソース用で、ワイドスクリーンTV用に機能 強化されていません。
- ▶ 16:9 I: このフォーマットはワイドスクリーン TV 用に機能強化された HDTV、DVD などの、16x9 入力ソース用です。(ベターフォーマット: 576i/p)
- ▶ 16:9 II: このフォーマットはワイドスクリーンTV用に機能強化された HDTV、DVD などの、16x9 入力ソース用です。(ベターフォーマット: 480i/p)
- ▶ Window: 4:3 映像が 16:9 スクリーンからはみ出す場合、「ウィンドウ」モードを選択すると、投射距離を変更することなく映像をスクリーンサイズにリサイズすることができます。
- ▶ 自動: 適切なディスプレー方式を自動的に選択します。

ソース	480i/p	576i/p	720p	1080i	PC
4:3	1024 x 768 に拡大縮小				
16:9 I	1024 x 576 に拡大縮小				
16:9 II	854 x 480 に拡大縮小				
Window	768 x 576 に拡大縮小				



ディスプレー



オーバースキャン

オーバースキャン機能では、ビデオ映像のノイズを除去します。イメージをオーバースキャンしてビデオソースのエッジのビデオエンコードノイズを削除します。

ズーム

- ▶ を押すと映像のサイズが小さくなります。
- ▶ を押すとスクリーンに投写された映像が拡大します。

水平イメージ シフト

投影された画像位置を水平に移動します。

垂直イメージ シフト

投影された画像位置を垂直に移動します。

垂直キーストン

◀または ▶ を押すと、画像のイメージの歪みが調整されより正方形に近いイメージが得られます。





言語

多言語対応オンスクリーンメニューをご希望の言語に設定します。サブメニューの ◀ または ▶ を押し、▲ または ▼ キーを使ってお好みの言語を選択します。「Enter」を押すと選択が確定されます。

日本語

設定



投射方式



工場出荷時はこれに設定されています。

裏側-卓上

この機能を選択すると、透過スクリーンの裏側から投射できるように画像が反転します。

▶ 正面-天吊り

この機能を選択すると、天井に取り付けたプロジェクターから投射することができるように画像の上下が反転します。

裏側-天吊り

この機能を選択すると、画像の上下左右が同時に反転します。これにより、天井に取り付けたプロジェクターを使って、透過スクリーンの裏側から投射することができます。

メニュー位置

スクリーン上に表示されるメニューの位置を選択します。

設定



プロジェクター ID

プロジェクタを個別に RS232 から操作することができます。 範囲 00~99。

ミュート

- ▶「オン」を選択するとミュートがオンになります。
- ▶「オフ」を選択するとミュートがオフになります。

音量

- ▶ ■を押すと音量が下がります。
- ▶ を押すと音量が上がります。



RS232

- RS232: プロジェクタを個別に RS232 から操作することができます。 (初期設定)
- ▶ ネットワーク: ネットワークを使用して WEB ブラウザ (Internet Explorer) 経由でプロジェクタをコントロールできます。

設定 | 安全設定



安全設定

- オン:「オン」を選択すると、プロジェクターの電源を入れるときにセキュリティー認証を行います。
- オフ:「オフ」を選択すると、セキュリティー認証を行うことなくプロジェクターの電源を入れることができます。

セキュリティタイマー

時間(月/日/時間)機能を選択して、プロジェクタの使用可能時間数を設定します。設定した時間が経過すると、プロジェクタから再度パスワードを入力するよう要求されます。



設定 | 安全設定



■ 最初:

- 1. パスワードは4桁で、デフォルトでは「1234」に設定されています。(最初)
- 2. リモコンの数字ボタンを押してパスワードを入力し、「Enter」キーを押して確定します。

パスワード変更

- 1. 「Enter」を押して古いパスワードを入力します。
- 2. 数字ボタンを使って現在のパスワードを入力し、「Enter」キーをもう一度押すと次の OSD メニューが表示されます。
- 3. スクロールダウンしてパスワードをハイライト死、「Enter」を押してオンにします。
- 4. リモコンの数字ボタンを使って新しいパスワード(4桁長)を入力し、「Enter」を押して確定します。
- 5. もう一度新しいパスワードを入力し、「Enter」を押して確定します。



設定 | シグナル





・「シグナル」メニューは、 アナログ VGA(RGB) 信号でのみサポートされます。

<u>位相</u>

ディスプレーの信号タイミングとグラフィックカードを同期化します。 画像が乱れたりちらついたりする場合は、この機能を使って修正します。

周波数

ディスプレーデータ周波数を変更して、コンピュータのグラフィックカード周波数に適合させます。映像に縦の縞模様やちらつきが表れる場合は、この機能を使って調整します。

水平位置

- ▶ ◀を押すと画像が左に移動します。
- ▶ を押すと画像が右に移動します。

垂直位置

- ▶ ◀を押すと画像が下に移動します。
- ▶ を押すと画像が上に移動します。

設定 | 詳細設定



スタート画面

ここで、ご希望の起動画面を選択します。設定を変更する場合、OSD メニューを終了し次に開くときに新しい設定が有効になります。

- ▶ Optoma: Optoma プロジェクタのデフォルトの起動画面。
- ▶ ニュートラル: ロゴは表示されません。

設定 | ネットワーク



ネットワークのステータス

ネットワーク情報を表示します。

DHCP

ここで、ご希望の起動画面を選択します。設定を変更する場合、OSDメニューを終了し次に開くときに新しい設定が有効になります。

- ▶ オン: DHCP サーバからプロジェクタに IP アドレスを自動的に割り当てます。
- ▶ オフ: IP アドレスを手動で割り当てます。

IP 位置

IP アドレスを選択します。

サブネットマスク

サブネットマスク番号を選択します。

ゲートウェイ

プロジェクタに接続されたネットワークのデフォルトゲートウェイを選択します。

DNS

DNS 番号を選択します。

適用

「はい」を選択すると選択が適用されます。

Web ブラウザを使用してプロジェクターを操作する方法

1. ダイアログボックスに新しい IP、サブネットマスク、ゲートウェイ、DNS を入力します。



- 2. 適用を選択し、「」」ボタンを押して設定プロセスを有効にします。
- 3. お使いの Web ブラウザを開き、OSD LAN画面から入力すると、次のような Web ページが表示されます。

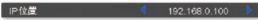


4. 「コントロールパネル」を開いてプロジェクターを操作します。



例: Microsoft Internet Explorer (IE) Web ブラウザを使用してプロジェクタを 操作します。 IP アドレスは http://192.168.0.100.

ステップ 1: プロジェクターの LAN 機能から IP アドレス(192.168.0.100)を検索します。



ステップ 2: 適用を選択し、「Enter」ボタンを押して機能を送信するか、「メニュー」キーを押して終了します。



プロジェクタの IP アドレスを使用すると、サービスセンターにリンクすることができません。

ステップ 3: ネットワーク接続を開くには、スタート、コントロールパネル、ネットワークとインターネット接続、ネットワーク接続を続けてクリックします。設定する接続をクリックし、次に、ネットワークタスク
の下で、この接続の設定を変更するをクリックします。

ステップ 4: 全般タブのこの接続は次のアイテムを使用するの下で、インター

ネットプロトコル (TCP/IP) をクリックし、「プロパティ」をクリックします。



ステップ 5: **次の IP アドレスを使用する**をクリック し、次のように入力します:

- 1) IPアドレス: 192.168.0.100
- 2) サブネットマスク: 255.255.255.0
- 3) デフォルトのゲートウェイ: 192.168.0.1



ステップ 6: インターネットオプションを開くには、IE Web ブラウザをクリックし、インターネッ トオプションをクリックし、**接続タブ**続い て「LAN設定をクリックします...。」



ステップ 7: **構内通信網 (LAN) 設定**ダイアログ ボックスが表示されたら、**プロキシサー** **バ領域で LAN のプロキシサーバを** 使用するチェックボックスをキャンセル し、「OK Iボタンを 2度クリックします。



ステップ 8: IE を開き、URL に192.168.0.100 の IP アドレスを入力し、「Enter」キーを 押します。 次のように、Web ページが 表示されます。



ステップ 9: 「コントロールパネル」を開いてプロジェ クターを操作します。



オプション



ソースロック

- ▶ オン: プロジェクターは、指定した接続ポートを捜索します。
- オフ: プロジェクターは、現在の入力信号が途切れると、自動的に他の信号を捜索します。

高海拔エリア

「オン」を選択すると高海抜エリアモードが有効になります。ファンが最高速度で連続動作し、高海抜エリアにおいてプロジェクターを適切に冷却します。

信号捜索情報隠し

- ▶ オン: 「オン」を選択すると、検索メッセージが非表示になります。
- ▶ オフ: 「オフ」を選択すると、検索メッセージが表示になります。

キーパッド ロック

キーボード ロック機能がオンになっているとき、コントロールパネルはロックされますが、プロジェクターはリモコンによって操作できます。この機能をキャンセルするには、リモコンを使うかコントロールパネルの「Enter」キーを10秒間押してこの機能をオフにします。

<u>背景カラー</u>

この機能を使用して、信号が利用できない場合「青」または「黒」スクリーンを表示します。

リセット

「はい」を選択するとすべてのメニューのディスプレイパラメータが工場出荷時 設定に戻ります。

オプション | 詳細



電源探知オート パワー オン

「オン」を選択するとオートパワーオンモードが有効になります。プロジェクターは AC 電源が供給されると自動的に電源オンになり、プロジェクターのコントロールパネルの「オン/スタンバイ」キーやリモコンの「電源」キーを押す必要はありません。

ECO スタンバイパワー (<1W)

- ▶ オン: 「オン」を選択すると、ワット損を保存します(<1W)。
- ▶ オフ:「オフ」を選択すると通常スタンバイモードに戻ります。(*)

オート パワー オフ(分)

カウントダウンタイマーの時間を設定します。カウントダウンタイマーは、プロジェクターへの入力信号が途切れると、カウントダウンを開始します。カウントダウンが終了すると、自動的にプロジェクターの電源が切れます(数分以内に)。

スリープ タイマー(分)

カウントダウンタイマーの時間を設定します。タイマーは、入力信号のあるなしに関わらず開始します。スリープタイマーのカウントダウンが終了すると、自動的にプロジェクターの電源が切れます。(数分以内)



❖ Eco スタンバイ (<1W)のとき、VGA 出力はスタンバイの間 無効になります。

オプション | ランプ設定



ランプ使用時間

投射時間を表示します。

ランプ警告

ランプ交換メッセージが表示されたときに、警告メッセージの表示/非表示を 設定します。メッセージは、推奨されるランプの交換の約30時間前から表示 されます。

<u>明るさ</u>

- ▶ 標準:「標準」を選択するとプロジェクータランプの光量を減らして電源消費量を少なくし、寿命を最大 130% 延長することができます。
- ▶ ブライト:「ブライト」を選択すると明るさが増します。

ランプリセット

「はい」を選択すると、ランプ交換後、ランプの寿命カウンタをリセットします。

故障かなと思ったら

プロジェクターに問題が発生した場合は、以下をご参照ください。それでも問題が解決しない場合、最寄りの販売店またはサービスセンターにお問い合わせください。

(詳細は、63~64ページをご参照ください)

画像の問題

? スクリーンに何も画像が表示されない

- すべてのケーブルと電源が、「設置方法」の章に記載されている手順どおりに 正しく接続されていることを確認してください。
- ▶ コネクタのピンが曲がっていないか、または壊れていないか確認してください。
- ▶ プロジェクターランプが正しく取り付けられているか確認してください。「ランプの交換」を参照してください。
- ▶ レンズキャップが付いていないか、また、プロジェクターの電源が入っているか確認してください。
- ▶ 「AV 消音」機能がオンに設定されていないか確認してください。

- ▶ リモコンまたはコントロールパネルで「再同期」を押します。
- ▶ PC 使用時:

For Windows 95, 98, 2000, XP:

- 1. 「マイコンピュータ」アイコンから「コントロールパネル」フォルダを開き、「Display」アイコンをダブルクリックします。
- 2. 「設定」タブを選択します。
- 3. ディスプレー解像度設定がUXGA (1600 x 1200)以下であることを確認します。(*)
- 4. 「詳細プロパティ」ボタンをクリックします。

それでもプロジェクターから画像全体が投射されない場合は、現在使用しているモニタディスプレーを変更する必要があります。次のステップをご参照ください。

5. 解像度設定がUXGA (1600 x 1200)以下であることを確認します。



 (*) 解像度XGA (1024 x 768)は、コン ピュータ信号に対して 推奨します。



(*) 解像度XGA (1024 x 768)は、コン ピュータ信号に対して 推奨します。

- 6. 「モニタ」タブの「変更」ボタンを選択します。
- 7. 「すべてのデバイスを表示」をクリックします。次に、SP ボックスで「標準モニタの種類」を選択し、「モデル」ボックスで必要な解像度モードを選択します。
- 8. モニタディスプレーの解像度設定が UXGA(1600 x 1200)以下であることを確認します。(*)
- ピュータ信号に対して ▶ ノートパソコン使用時:
 - 1. まず、上記の手順に従ってコンピュータの解像度を調整します。
 - 2. 以下に記載の適切なキーを押すと、ノート PC メーカーはノート PC からプロジェクターに信号を送信します。例: [Fn]+[F4]

Acer ⇒	[Fn]+[F5]	IBM/Lenovo ⇔	[Fn]+[F7]			
Asus ⇒	[Fn]+[F8]	HP/Compaq ⇔	[Fn]+[F4]			
Dell ⇒	[Fn]+[F8]	NEC ⇒	[Fn]+[F3]			
Gateway ⇒	[Fn]+[F4]	Toshiba ⇔	[Fn]+[F5]			
Mac Apple: システム設定 ⇔ ディスプレー ⇔ Arrangement(調整) ⇔ ミラーディスプレー						

解像度を変更できない場合やモニタがフリーズした場合は、プロジェクターを含むすべての機器を再起動してください。

2 ノートパソコンの画面に、投射映像が表示されない

▶ ノートパソコン使用時 ノートパソコンの機種によっては、第二ディスプレー機器使用中は、スクリーン が自動的に無効となります。再びスクリーンを有効にする方法は機種によっ て異なります。詳細につきましては、お使いのコンピュータの取扱説明書をご

参照ください。

2 画像が乱れる、またはちらつく

- ▶ 「位相」を使って修正してください。詳細は、43 ページをご参照ください。
- ▶ コンピュータのモニタのカラー設定を変更してください。

? 映像に縦の縞模様が出る

- ▶ 「周波数」を調整してください。詳細は、43ページをご参照ください。
- グラフィックカードのディスプレーモードがプロジェクターと一致しているか確認し、一致していない場合は再設定してください。

■像のピントが合っていない

- ▶ レンズのキャップを取り外していることを確認してください。
- プロジェクターレンズのフォーカスリングで調整してください。
- ▶ プロジェクターと投写スクリーン間の要求される距離が 0.5~3.7m 以内にあることを確認してください。 詳細は 17 ページをご参照ください。

? 16:9 DVDを再生表示しているとき、映像が伸びる

アナモフィックDVDまたは 16:9 DVDを再生しているとき、プロジェクターはプロジェクタ側で 16:9 フォーマットで最高の画像を表示します。

4:3 フォーマットDVDタイトルを再生している場合、プロジェクター OSD で4:3 としてフォーマットを変更してください。

それでも映像が伸びるときは、次の手順に従ってアスペクト比を変更する必要があります。

▶ お使いのDVDプレーヤーで、16:9 (ワイド)アスペクト比タイプとしてディスプレーフォーマットをセットアップしてください。

? 画像が小さすぎるまたは大きすぎる

- プロジェクターをスクリーンに近づけたり離したりしてください。
- ▶ リモコンまたはコントロールパネルの「メニュー」ボタンを押して、「ディスプレー → フォーマット」に移動し異なる設定を試してください。

? 画像の両側が斜めになる

- ▶ 可能であれば、プロジェクターがスクリーンの中央下端に来るように配置し直してください。
- 側面が垂直になるまで、リモコンの「キーストーン +/-」ボタンを押すか、プロジェクタパネルの「\□ □ rを押します。

? 映像が反転する

▶ スクリーンメニューから「セットアップ → 投射方式」を選択し、投写方向を調整してください。



Keystone の使用 はお勧めしません。

中断の問題

? プロジェクターがすべてのコントロールへの反応を停止します

▶ 可能であれば、プロジェクターの電源を切って電源コードを抜き、60 秒待って から電源を接続し直してください。

? ランプが消える、またはランプから破裂音がする

▶ ランプが寿命に近づくと、ランプはいずれ切れます。また、大きな破裂音が発 生することがあります。この場合、ランプモジュールを交換しない限り、プロジェ クターの電源を入れることはできません。「ランプの交換」(56~57ページ)に 記載の手順に従ってランプを交換してください。

プロジェクターステータスの表示

? LED 点灯メッセージ

メッセージ	電源 LED 温度 LED		ランプ LED	
,,,,,,	(緑/黄色)	(赤)	(赤)	
スタンバイ状態 (電源コード接続済)	黄色で点滅	0	0	
電源オン(ウォーミング)	緑で点滅	0	0	
ランプ点灯	緑	0	0	
エラー(過熱)	0	*	0	
エラー(ファントラブル)	0	点滅 (0.25sオン、0.25sオフ)	0	
エラー(ランプトラブル)	0	0	*	



Note 点灯 ⇒ 🔆

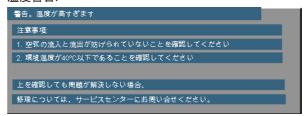
消灯 ⇨ 〇

警告メッセージ

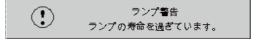
ファンのトラブル:

警告。ファンがロックされています プロジェクタは自動的にスイッチがオフになります。 修理については、サービスセンターにお問い合せください。

▶ 温度警告:



▶ ランプ警告:



ソースメッセージ:



リモコンの問題

- ? リモコンが作動しない場合、次を確認してください
- ▶ リモコンの操作角度が約722.5-になっていることを確認する。
- ▶ リモコンとプロジェクターのボックスの間に障害物がないことを確認する。プロジェクターのボックスから6m以内に移動する。
- ▶ 電池が正しくセットされていることを確認する。
- ▶ リモコンの電池を交換する。

ランプの交換

プロジェクターはランプの寿命を自動的に検出します。ランプの寿命に近づいている場合、警告メッセージが表示されます。



ランプ**警**告 ランプの寿命を過ぎています。

このメッセージが表示されたら、できる限り速やかに最寄りの販売店またはサービスセンターに連絡して、ランプを交換してください。ただし、ランプを交換する前に、プロジェクターが十分冷却されるまで約30分お待ちください。

HIGH TEMPERATURE COOL FOR 30 MINUTES. HIGH PRESSURE LAMP MAY EXPLODE IF IMPROPERLY HANDED. REFER TO LAMP REPLACEMENT INSTRUCTIONS. DISCONNECT POWER BEFORE CHANGING LAMP. REPLACE ONLY WITH OSRAM P-VIP 200/1.0 E20.6n ATTENTION: AHAUTES TEMPERATURES REFROIDISSEZ PENDANT 30 MINUTES.

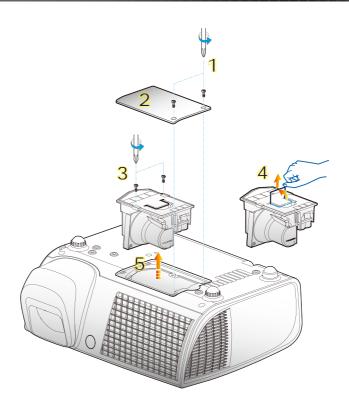
Les lampes à haute pression peuvent exploser si elles sont mal utilisées.
Confier l'entretien à une personne qualifiée.
COUPERLE COURANT AVANT DEREMPLACERLE LAMPES.

NE REPLACE GUE DES LAMPES OSRAM P-VIP 200/1.0 E20.6n

☆ 警告: 天上から吊り下げる場合、ランプアクセスパネルを開けるときは注意してください。天上から吊り下げているとき、電球を交換する場合安全メガネを着用することをお勧めします。「プロジェクターからゆるんだ部品が落下しないように、注意を払う必要があります」。

☆警告: ランプ周辺は高熱になっています!冷却するまでお待ちいただき、ランプの熱が冷めてから交換してください!

☆ 警告: 怪我を防ぐため、ランプを落下させたり、ランプのバルブに触れることのないようご注意ください。バルブが落下すると粉々に砕けて飛び散り、怪我をする恐れがあります。



- → ランプ交換手順: ○
- 1. 「電源」ボタンを押してプロジェクタの電源を切ります。
- 2. ランプが十分冷却されるまで約30分間お待ちください。
- 3. 電源コードを外します。
- 4. カバーに取り付けられている 2 つのネジを、ドライバーで取り外します●
- 5. カバーを押し上げて取り外します。 ❷
- 6. ランプモジュールに取り付けられている 2 本のネジを、ドライバーで取り外します。 ❸
- 7. ランプハンドルを慎重に引っ張り上げます。4
- 8. ランプモジュールを取り外します。

 ⑤
- ランプモジュールを交換するには、上記の手順を逆に繰り返します。
- 9. ランプモジュールを交換したら、プロジェクタの電源を入れ「ランプリセット」をオンにします。
- ランプリセット: (i) 「メニュー」を押し → (ii) 「オプション」を選択し → (iii) 「ランプ設定」を選択し → (iv) 「ランプリセット」を選択し → (v) 「はい」を選択します。

互換モード

▶ コンピュータの互換性

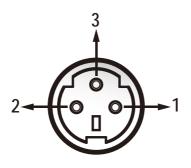
т !"	解像度	垂直同期 (Hz)			
モード		アナログ	デジタル		
VGA	640 x 350	70, 85	70, 85		
VGA	640 x 400	85	85		
VGA	640 x 480	60, 72, 75, 85	60, 72, 75, 85		
VGA	720 x 400	70, 85	70, 85		
SVGA	800 x 600	56, 60, 72, 75, 85	56, 60, 72, 75, 85		
XGA	1024 x 768	60, 70, 75, 85	60, 70, 75, 85		
SXGA	1152 x 864	70, 75, 85	70, 75, 85		
SXGA	1280 x 1024	60, 75, 85	60, 75, 85		
SXGA+	1400 x 1050	60	60		
UXGA	1600 x 1200	60	60		
MAC LC 13"	640 x 480	66.66	***		
MAC II 13"	640 x 480	66.68	***		
MAC 16"	832 x 624	74.55	***		
MAC 19"	1024 x 768	75	***		
MAC	1152 x 870	75.06	***		
MAC G4	640 x 480	60	***		
i MAC DV	1024 x 768	75	www		
i MAC DV	1152 x 870	75	www		
i MAC DV	1280 x 960	60	***		
WXGA	1280 x 720	60	60, 75, 85		
WXGA	1280 x 768	60	60, 75, 85		
WXGA	1280 x 800	60	60, 75, 85		

▶ ビデオ互換性:

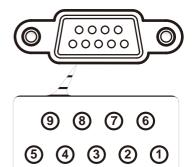
NTSC	M (3.58MHz), 4.43 MHz,
PAL	B, D, G, H, I, M, N,4.43 MHz,
SECAM	B, D, G, K, K1, L
コンポーネント	480i/p, 576i/p, 720p@50/60Hz, 1080i@50/60Hz

RS232 コマンド

RS232 ピン割り当て



ピン番号	信号名	I/O(プロジェクタ 一側)
1	TXD	出力
2	RXD	入力
3	GND	_



ピン番号	信号名
1	N/A
2	RXD
3	TXD
4	N/A
5	GND
6	N/A
7	N/A
8	N/A
9	N/A

RS232 プロトコル機能リスト

ボーレート: 9600 データビット: 8 パリティ: なし 停止ビット: 1 フロー制御: なし UART16550 FIFO: 無効 プロジェクタ復帰(成功): P プロジェクタ復帰(失敗): F

XX=01-99、プロジェクターの ID、 XX=00 はすべてのプロジェクター 用です



- 1. すべてのASCIIコマンド の後には<CR>が付きま す。
- 2. 0Dは、ASCIIコードでの <CR>に対するHEXコー ドです。

RS232 コマンド						
SEND to projector						
232 ASCII Code	HEX Code	Function		Description		
~XX00 1 ~XX00 2	7E 30 30 30 30 20 31 0D 7E 30 30 30 30 20 32 0D	Power ON Power OFF				
~XX01 1 ~XX02 1 ~XX02 2 ~XX03 1 ~XX03 2 ~XX04 1 ~XX04 2 ~XX05 1 ~XX06 1 ~XX06 1 ~XX09 1 ~XX09 1	7E 30 30 30 31 20 31 0D 7E 30 30 30 32 20 31 0D 7E 30 30 30 32 20 31 0D 7E 30 30 30 32 20 32 0D 7E 30 30 30 32 20 32 0D 7E 30 30 33 20 31 0D 7E 30 30 33 32 0 31 0D 7E 30 30 30 33 20 32 0D 7E 30 30 30 34 20 32 0D 7E 30 30 30 35 20 31 0D 7E 30 30 30 37 20 31 0D 7E 30 30 30 37 20 31 0D 7E 30 30 30 37 20 31 0D 7E 30 30 30 39 20 31 0D 7E 30 30 30 39 20 31 0D 7E 30 30 30 39 20 31 0D	Resync AV Mute Mute Freeze Unfreeze Zoom Plus Zoom Minus Jown (Pan under zoom) Down (Pan under zoom) Left (Pan under zoom) Right (Pan under zoom)	On Off On Off			
~XX12 2 ~XX12 3 ~XX12 5 ~XX12 7 ~XX12 8 ~XX12 9 ~XX12 10	7E 30 30 31 32 20 32 0D 7E 30 30 31 32 20 33 0D 7E 30 30 31 32 20 33 0D 7E 30 30 31 32 20 35 0D 7E 30 30 31 32 20 37 0D 7E 30 30 31 32 20 38 0D 7E 30 30 31 32 20 39 0D 7E 30 30 31 32 20 31 30 0D	Direct Source Selection	DVI-D DVI-A VGA 1 VGA 1 SCART VGA 1 Component S-Video Video			
~XX20 1 ~XX20 2 ~XX20 3 ~XX20 4 ~XX20 5 ~XX20 7 ~XX20 8	7E 30 30 32 30 20 31 0D 7E 30 30 32 30 20 32 0D 7E 30 30 32 30 20 33 0D 7E 30 30 32 30 20 33 0D 7E 30 30 32 30 20 34 0D 7E 30 30 32 30 20 35 0D 7E 30 30 32 30 20 37 0D 7E 30 30 32 30 20 37 0D	Display Mode	Presentation Bright Movie sRGB User Blackboard Classroom			
~XX21 n ~XX22 n ~XX23 n	7E 30 30 32 31 20 a 0D 7E 30 30 32 32 20 a 0D 7E 30 30 32 33 20 a 0D	Brightness Contrast Sharpness		$\begin{array}{l} n = -50 \; (a = 2D \; 35 \; 30) \sim 50 \; (a = 35 \; 30) \\ n = -50 \; (a = 2D \; 35 \; 30) \sim 50 \; (a = 35 \; 30) \\ n = 0 \; (a = 30) \sim 31 \; (a = 33 \; 31) \end{array}$		
~XX24 n ~XX25 n ~XX26 n ~XX27 n ~XX28 n ~XX30 n ~XX31 n ~XX31 n ~XX31 n ~XX33 n	TE 30 30 32 34 20 a 0D TE 30 30 32 35 20 a 0D TE 30 30 32 35 20 a 0D TE 30 30 32 37 20 a 0D TE 30 30 32 37 20 a 0D TE 30 30 32 38 20 a 0D TE 30 30 32 38 20 a 0D TE 30 30 33 33 30 20 a 0D TE 30 30 33 31 20 a 0D TE 30 30 33 33 20 a 0D TE 30 30 33 33 20 a 0D	Color	Red Gain Green Gain Blue Gain Red Bias Green Bias Blue Bias Cyan Yellow Magenta Reset	$\begin{array}{llllllllllllllllllllllllllllllllllll$		
~XX34 n ~XX35 1 ~XX35 2 ~XX35 3 ~XX35 4	7E 30 30 33 34 20 a 0D 7E 30 30 33 35 20 31 0D 7E 30 30 33 35 20 32 0D 7E 30 30 33 35 20 33 0D 7E 30 30 33 35 20 34 0D	White Peaking Degamma	Film Video Graphics PC	n = 0 (a=30) ~ 10 (a=31 30)		
~XX36 1 ~XX36 2 ~XX36 3 ~XX37 1 ~XX37 2 ~XX37 3	7E 30 30 33 36 20 31 0D 7E 30 30 33 36 20 32 0D 7E 30 30 33 36 20 33 0D 7E 30 30 33 37 20 31 0D 7E 30 30 33 37 20 32 0D 7E 30 30 33 37 20 32 0D	Color Temp. Color Space	Warm Medium Cold Auto RGB YUV			
~XX39 2 ~XX39 3 ~XX39 5 ~XX39 9 ~XX39 10	7E 30 30 33 39 20 32 0D 7E 30 30 33 39 20 33 0D 7E 30 30 33 39 20 35 0D 7E 30 30 33 39 20 35 0D 7E 30 30 33 39 20 31 30 0D	Input Source	DVI-D DVI-A VGA 1 S-Video Video			
~XX60 1 ~XX60 2 ~XX60 3 ~XX60 4 ~XX60 7	7E 30 30 36 30 20 31 0D 7E 30 30 36 30 20 32 0D 7E 30 30 36 30 20 33 0D 7E 30 30 36 30 20 34 0D 7E 30 30 36 30 20 35 0D	Format	4:3 16:9-1 16:9-1l Window AUTO			
~XX61 n ~XX62 n ~XX63 n ~XX64 n ~XX66 n	7E 30 30 36 31 20 a 0D 7E 30 30 36 33 20 a 0D 7E 30 30 36 34 20 a 0D 7E 30 30 36 36 20 a 0D	Overscan 7E 30 30 36 32 20 a 0D H Image Shift V Image Shift V Keystone	Zoom	$\begin{array}{l} n=0\;(a{=}30)\sim10\;(a{=}31\;30)\\ n=0\;(a{=}30)\sim100\;(a{=}31\;30\;30)\\ n=-50\;(a{=}2D\;35\;30)\sim50\;(a{=}35\;30)\\ n=-50\;(a{=}2D\;35\;30)\sim50\;(a{=}35\;30)\\ n=-40\;(a{=}2D\;34\;30)\sim40\;(a{=}34\;30) \end{array}$		
- XX70 1 - XX70 2 - XX70 3 - XX70 3 - XX70 3 - XX70 6 - XX70 6 - XX70 6 - XX70 8 - XX70 10 - XX70 10 - XX70 11 - XX70 12 - XX70 12 - XX70 14 - XX70 17 - XX70 19 - XX70 20	7E 30 93 37 30 20 31 0D TE 30 93 77 30 20 32 0D TE 30 93 77 30 20 32 0D TE 30 93 77 30 20 33 0D TE 30 93 77 30 20 37 0D TE 30 93 77 30 20 31 30 0D TE 30 93 77 30 20 31 30 0D TE 30 93 77 30 20 31 31 0D TE 30 93 77 30 20 31 33 0D TE 30 93 77 30 20 31 33 0D TE 30 93 77 30 20 31 33 0D TE 30 93 77 30 20 31 34 0D TE 30 93 77 30 20 31 34 0D TE 30 93 77 30 20 31 39 0D TE 30 93 77 30 20 31 39 0D TE 30 93 77 30 20 31 39 0D TE 30 93 77 30 20 31 39 0D TE 30 93 77 30 20 31 39 0D TE 30 93 77 30 20 31 39 0D TE 30 93 77 30 20 31 39 0D TE 30 93 77 30 20 31 39 0D TE 30 93 77 30 20 31 39 0D TE 30 93 77 30 20 31 39 0D TE 30 93 77 30 20 31 39 0D TE 30 93 77 30 20 31 39 0D	Language	English German French Italian Italian French Italian Portuguese Polish Dutch Sh Norwegian/Danish Finnish Greek Traditional Chinese Japanese Korean Russian Italian Ita			
~XX71 1 ~XX71 2 ~XX71 3 ~XX71 4	7E 30 30 37 31 20 31 0D 7E 30 30 37 31 20 32 0D 7E 30 30 37 31 20 32 0D 7E 30 30 37 31 20 33 0D 7E 30 30 37 31 20 34 0D	Projection	Front-Desktop Rear-Desktop Front-Ceiling Rear-Ceiling			
~XX72 1 ~XX72 2 ~XX72 3 ~XX72 4 ~XX72 5	7E 30 30 37 32 20 31 0D 7E 30 30 37 32 20 32 0D 7E 30 30 37 32 20 33 0D 7E 30 30 37 32 20 34 0D 7E 30 30 37 32 20 34 0D 7E 30 30 37 32 20 35 0D	Menu Location	Top Left Top Right Centre Bottom Left Bottom Right			

SEND to projecto 232 ASCII Code	HEX Code	Function			Description
~XX73 n		Signal	Frequency		
~XX74 n ~XX75 n ~XX76 n	7E 30 30 37 33 20 a 0D 7E 30 30 37 34 20 a 0D 7E 30 30 37 35 20 a 0D 7E 30 30 37 35 20 a 0D 7E 30 30 37 36 20 a 0D		Frequency Phase H. Position V. Position		n = -5 (a=2D 35) ~ 5 (a=35) n = 0 (a=30) ~ 31 (a=33 31) n = -5 (a=2D 35) ~ 5 (a=35) n = -5 (a=2D 35) ~ 5 (a=35)
~XX77 n		Security	Security Timer	Month/Day/Hour	n = mmddhh mm = 00 (aa=30 30) ~ 99 (aa=39 39) dd = 00 (bb=30 30) ~ 29 (bb=32 39) hh = 00 (cc=30 30) ~ 23 (cc=32 33)
~XX78 1 ~XX78 2	7E 30 30 37 38 20 31 0D 7E 30 30 37 38 20 32 0D		Security Settings	On Off	III = 00 (cc=30 30) 23 (cc=32 33)
~XX79 n	7E 30 30 37 39 20 a 0D	Projector ID			n = 00 (a=30 30) ~ 99 (a=39 39)
~XX80 1 ~XX80 2 ~XX81 n	7E 30 30 38 30 20 31 0D 7E 30 30 38 30 20 32 0D 7E 30 30 38 31 20 a 0D	Mute Volume		On Off	n = 0 (a=30) ~ 15 (a=31 35)
~XX82 1 ~XX82 3	7E 30 30 38 32 20 31 0D 7E 30 30 38 32 20 31 0D	Logo		Optoma Neutral	
~XX86 1 ~XX86 2	7E 30 30 38 36 20 31 0D 7E 30 30 38 36 20 32 0D	RS232	RS232 Network		
~XX88 1 ~XX88 2	7E 30 30 38 38 20 31 0D 7E 30 30 38 38 20 31 0D	Eco Standby <1W		On Off	
~XX100 1 ~XX100 2	7E 30 30 31 30 30 20 31 0D 7E 30 30 31 30 30 20 32 0D	Source Lock		On Off	
~XX1011	7E 30 30 31 30 31 20 31 0D	High Altitude		On Off	
~XX101 2 ~XX102 1 ~XX102 2	7E 30 30 31 30 31 20 32 0D 7E 30 30 31 30 32 20 31 0D 7E 30 30 31 30 32 20 31 0D 7E 30 30 31 30 32 20 32 0D 7E 30 30 31 30 33 20 31 0D	Information Hide		On Off	
~XX102 2 ~XX103 1 ~XX103 2	7E 30 30 31 30 32 20 32 0D 7E 30 30 31 30 33 20 31 0D 7E 30 30 31 30 33 20 32 0D	Keypad Lock		On Off	
~XX104 1 ~XX104 2	7E 30 30 31 30 34 20 31 0D 7E 30 30 31 30 34 20 32 0D	Background Color	Blue Black		
~XX105 1 ~XX105 2	7E 30 30 31 30 35 20 31 0D 7E 30 30 31 30 35 20 32 0D 7E 30 30 31 30 36 20 a 0D	Advanced	Direct Power On	On Off	
~XX105 2 ~XX106 n ~XX107 n	7E 30 30 31 30 35 20 32 0D 7E 30 30 31 30 36 20 a 0D 7E 30 30 31 30 37 20 a 0D		Auto Power Off (min) Sleep Timer (min)	···	n = 0 (a=30) ~ 999 (a=39 39 39) (0~180) n = 0 (a=30) ~ 999 (a=39 39 39) (0~999)
~XX108 1 ~XX109 1	7E 30 30 31 30 38 20 31 0D	Lamp Setting	Lamp Hour Lamp Reminder	On	
~XX109.2	7E 30 30 31 30 39 20 31 0D 7E 30 30 31 30 39 20 31 0D 7E 30 30 31 30 39 20 32 0D 7E 30 30 31 31 30 20 31 0D			Off	
~XX110 1 ~XX110 2 ~XX111 1	7E 30 30 31 31 30 20 31 0D 7E 30 30 31 31 30 20 32 0D 7E 30 30 31 31 31 20 31 0D		Brightness Mode Lamp Reset	Bright STD Yes	
~XX111 2	7E 30 30 31 31 31 20 32 0D		Lamp Reset	No	
~XX112 1 ~XX112 2	7E 30 30 31 31 32 20 31 0D 7E 30 30 31 31 32 20 32 0D	Reset		Yes No	
READ from proj		I and Samuel Comments	OV-		DE N/DVI D/DVI A N/C 11/
~XX121 1	7E 30 30 31 32 31 20 31 0D	Input Source Commands Sofware Version	OKn OKdd	n: 00/01/02/03/04 S-Video/Video	/05 = None/DVI-D/DVI-A/VGA1/
~XX122 1 ~XX123 1	7E 30 30 31 32 32 20 31 0D 7E 30 30 31 32 33 20 31 0D	Display Mode	OKn	sRGB/Blackbr	Presentation/Bright/Movie/sRGB/User/ assroom Presentation/Bright/Movie/ oard/Classroom/User
~XX124 1 ~XX125 1 ~XX126 1	7E 30 30 31 32 34 20 31 0D 7E 30 30 31 32 35 20 31 0D	Power State Brightness	OKn OKn	n: 1/0 = On/Off	
~XX127 1	7E 30 30 31 32 35 20 31 0D 7E 30 30 31 32 35 20 31 0D 7E 30 30 31 32 36 20 31 0D 7E 30 30 31 32 37 20 31 0D 7E 30 30 31 32 38 20 31 0D	Contrast	OKn OKn	n: 0/1/2/3/4 = 4:3	/16:9-1/16:9-11/Window/AUTO
~XX128 1 ~XX129 1	7E 30 30 31 32 38 20 31 0D 7E 30 30 31 32 39 20 31 0D	Aspect Ratio Color Temperature Projection Mode	OKn OKn	n: 0/1/2 = Warm/l n: 0/1/2/3 = Front Rear-Ceiling	Medium/Cold -Desktop/ Rear-Desktop/ Front-Ceiling/
SEND to emulate	Remote				
~XX140 1 ~XX140 3	7E 30 30 31 34 30 20 31 0D 7E 30 30 31 34 30 20 33 0D		Power Remote Mouse Up Remote Mouse Left		
~XX140 3 ~XX140 4 ~XX140 5 ~XX140 6 ~XX140 7	7E 30 30 31 34 30 20 31 0D 7E 30 30 31 34 30 20 33 0D 7E 30 30 31 34 30 20 33 0D 7E 30 30 31 34 30 20 34 0D 7E 30 30 31 34 30 20 35 0D 7E 30 30 31 34 30 20 36 0D		Remote Mouse Enter		
~XX140 6 ~XX140 7			Remote Mouse Right Remote Mouse Down		
~XX140 8 ~XX140 9 ~XX140 10 ~XX140 11	7E 30 30 31 34 30 20 38 0D 7E 30 30 31 34 30 20 39 0D		Mouse Left Click Mouse Right Click		
~XX140 10 ~XX140 11	7E 30 30 31 34 30 20 31 30 0D		Up/Page + Left/Source		
~XX140 12 ~XX140 13	7E 30 30 31 34 30 20 31 32 0D 7E 30 30 31 34 30 20 31 33 0D 7E 30 30 31 34 30 20 31 33 0D 7E 30 30 31 34 30 20 31 34 0D 7E 30 30 31 34 30 20 31 35 0D		Enter (for projection M Right/Re-SYNC Down/Page -	IENU)	
~XX140 14 ~XX140 15	7E 30 30 31 34 30 20 31 34 0D 7E 30 30 31 34 30 20 31 35 0D		Keystone +		
~XX140 16 ~XX140 17 ~XX140 18	7E 30 30 31 34 30 20 31 36 0D 7E 30 30 31 34 30 20 31 37 0D		Keystone - Volume -		
~XX140 18 ~XX140 19 ~XX140 20	TE 30 30 31 34 30 20 31 38 0D TE 30 30 31 34 30 20 31 39 0D TE 30 30 31 34 30 20 32 30 0D TE 30 30 31 34 30 20 32 31 0D TE 30 30 31 34 30 20 32 31 0D TE 30 30 31 34 30 20 32 32 0D TE 30 30 31 34 30 20 32 33 0D TE 30 30 31 34 30 20 32 34 0D TE 30 30 31 34 30 20 32 35 0D TE 30 30 31 34 30 20 32 35 0D TE 30 30 31 34 30 20 32 35 0D TE 30 30 31 34 30 20 32 36 0D TE 30 30 31 34 30 20 32 36 0D TE 30 30 31 34 30 20 32 37 0D		Volume + Brightness		
~XX140 21	7E 30 30 31 34 30 20 32 30 0D 7E 30 30 31 34 30 20 32 31 0D 7E 30 30 31 34 20 20 22 22 0D		Menu Zoom DVI		
~XX140 22 ~XX140 23 ~XX140 24	7E 30 30 31 34 30 20 32 32 0D 7E 30 30 31 34 30 20 32 33 0D 7E 30 30 31 34 30 20 32 24 0D		Freeze AV Mute		
~XX140 25 ~XX140 26	7E 30 30 31 34 30 20 32 35 0D 7E 30 30 31 34 30 20 32 35 0D		Freeze AV Mute S-Video VGA		
~XX140 27	7E 30 30 31 34 30 20 32 37 0D		VGA Video		
SEND from proje 232 ASCII Code	ector automatically HEX Code	Function	Projector Return	Description	
	rming/Cooling/Out of Range/Lan		INFOn		ndby/Warming/Cooling/Out of Range/
READ from proj	ector HEX Code	Function	Projector D-t		
~XX150 1		Information	Projector Return OKabbbbccdddde	a · 1/0-On/Off	
				bbbb: LampHour cc: source 00/01/0 VGA1/S-Vide dddd: FW yersion	2/03/04/05= None/DVI-D/DVI-A/ o/Video
~XX151 1	7E 30 30 31 35 31 20 31 0D	Model name	OKn	e : Display mode n : 0 EX525ST	

天井への取り付け

- 1. プロジェクターの損傷を防ぐため、必ず Optoma が推奨するマウント パッケージを使用して取り付けてください。
- 2. 他社製の天吊りキットをご利用になる場合は、プロジェクターを取り付けるネジが以下の仕様に適合していることを必ず確認してください:
 - ▶ ネジの種類: M4

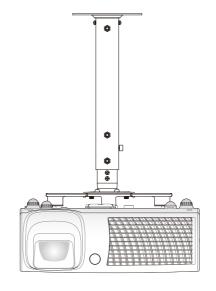


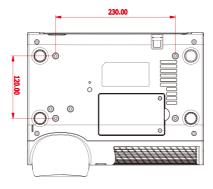
* プロジェクターを正しく 取り付けていないことが 原因で発生した損傷 に関しましては、保証 は無効になります。予 めご了承ください。



▲ 警告

- 1. 天吊り用キットを他社からご購入された場合は、 プロジェクターの底面を、 最低でも 10cm 以上天 井から離して設置してく ださい。
- 2. エアコン、ヒーターなどの 熱を発する機器から離 して設置してください。熱 源の近くに設置した場合 は、プロジェクターが過熱 し自動的に電源が切れ る可能性があります。





単位: mm

Optoma 社 お問い合わせ先

サービスやサポートにつきましては、最寄のオフィスまでご連絡ください。

USA

715 Sycamore Drive 電話: 408-383-3700 Milpitas, CA 95035, USA FAX: 408-383-3702

www.optomausa.com メールアドレス: <u>services@optoma.com</u>

カナダ

5630 Kennedy Road, Mississauga,

ヨーロッパ

42 Caxton Way, The Watford Business Park

Watford, Hertfordshire,

WD18 8QZ, UK 電話: +44 (0) 1923 691 800 www.optoma.eu FAX: +44 (0) 1923 691 888

カスタマーサービス TEL: メールアドレス: service@tsc-europe.com

+44 (0)1923 691865

フランス

Bâtiment E 電話: +33 1 41 46 12 20 81-83 avenue Edouard Vaillant FAX: +33 1 41 46 94 35

92100 Boulogne Billancourt, France メールアドレス: <u>savoptoma@optoma.fr</u>

スペイン

C/ José Hierro,36 Of. 1C 電話: +34 91 499 06 06 28529 Rivas VaciaMadrid, FAX: +34 91 670 08 32

Spain

ドイツ

Werftstrasse 25 電話: +49 (0) 211 506 6670 D40549 Düsseldorf, FAX: +49 (0) 211 506 66799 メールアドレス: info@optoma.de

スカンジナビア

Grev Wedels Plass 2 電話: +47 32 26 89 90 3015 Drammen FAX: +47 32 83 78 98

Norway メールアドレス: <u>info@optoma.no</u>

南米

715 Sycamore Drive 電話: 408-383-3700 Milpitas, CA 95035, USA FAX: 408-383-3702 www.optoma.com.br www.optoma.com.mx

韓国

WOOMI TECH.CO.,LTD.

4F,Minu Bldg.33-14, Kangnam-Ku, 電話: +82+2+34430004 seoul,135-815, KOREA FAX: +82+2+34430005

日本

東京都足立区綾瀬3-25-18 株式会社オーエスエム サポートセンター:0120-46-5040

E-mail : <u>info@osscreen.com</u> www.os-worldwide.com

台湾

5F., No. 108, Minchiuan Rd. Shindian City, Taipei Taiwan 231, R.O.C. www.optoma.com.tw 電話: +886-2-2218-2360 FAX: +886-2-2218-2313

メールアドレス: <u>services@optoma.com.tw</u> asia.optoma.com

香港

Unit A, 27/F Dragon Centre, 79 Wing Hong Street, Cheung Sha Wan, Kowloon, Hong Kong

電話: +852-2396-8968 FAX: +852-2370-1222 www.optoma.com.hk

中国

5F, No. 1205, Kaixuan Rd., Changning District Shanghai, 200052, China 電話: +86-21-62947376 FAX: +86-21-62947375 www.optoma.com.cn

規制と安全に関する通知

この付録では、お使いのプロジェクターの一般的通知を一覧表示しています。

FCC 通知

本装置は、FCC基準パート15に準ずるClass Bのデジタル電子機器の制限事項に準拠しています。これらの制限事項は、住宅地域で使用した場合に生じる可能性のある電磁障害を規制するために制定されたものです。本装置は高周波エネルギーを生成し使用しています。また、高周波エネルギーを放射する可能性があるため、指示に従って正しく設置しなかった場合は、無線通信に障害を及ぼす可能性があります。

しかしながら、特定の設置状況においては電波障害を起こさないという 保証はありません。本装置がラジオやテレビの受信に障害を与えていないかを判断するには、本装置の電源をオンオフしてみます。受信障害が 発生している場合には、以下の方法で受信障害を改善することをお薦めします。

- 受信アンテナの方向または設置位置を変える。
- 本装置と受信機の距離を離す。
- 本装置と受信機の電源系列を別の回路にする。
- 販売店やラジオ/ビデオの専門技術者に問い合わせる。

通知: シールドされたケーブル

他のコンピュータ装置へのすべての接続には、FCC 規制に準拠するためにシールドされたケーブルを使用する必要があります。

注意

FCC 準拠に責任を持つ第三者からの明確な許可を受けることなく、本体に製造元から承認されていない変更や改造が行われた場合には、本装置を使用する権利が規制される場合があります。

操作条件

本製品は FCC 規則パート 15 に準拠しています。操作は次の 2 つの 条件に規制されます:

- 1.電波障害を起こさないこと、
- 2. 誤動作の原因となる電波障害を含む、受信されたすべての電波障害に対して正常に動作すること。

通知: カナダのユーザー

このクラス B デジタル機器はカナダ ICES-003 に準拠しています。

Remarque à l'intention des utilisateurs canadiens

Cet appareil numerique de la classe B est conforme a la norme NMB-003 du Canada.

EU 諸国に対する適合宣言

- EMC 指令 2004/108/EC (修正案を含む)
- 低電圧指令 2006/95/EC
- R & TTE 指令 1999/5/EC (製品の RF 機能が搭載されている場合)

廃棄に関する指示



この電子デバイスを処分するとき、こみ箱に捨てないでください。汚染を最小限に抑え地球環境を最大限に 保護するため、本製品をリサイクルしてください。